

テーマ『自然～青虫を育てよう～』

園庭や散歩先で昆虫を探したり捕まえたりする姿がよく見られている。ある日園庭でミカンの木に何かの小さな卵を発見した子どもたち。これを機に自分たちで身近な生き物の生態を自分たちで調べたり考えたりして興味関心が広がって欲しい。また、生き物が成長する過程を知り、命の大切さに気付いていってくれたらいいと思った。

虫を調べてみよう！

〈5月からの様子〉

ミカンの木にちょうちょが飛んでいるのを発見。

子ども「アゲハ蝶がご飯探してる！」

保育者「卵を産みにきたんじゃない？」

子ども「なんで？」

保育者「ちょうちょの赤ちゃんはミカンのはっぱを食べるから、ミカンのはっぱに卵を産むんだよ」

子ども「そうなの？」

保育者「調べてごらん」と声を掛けると図鑑や絵本を持ってきてテラスで調べ始める。

「あ、さっきのちょうちょ(あげはちょう)。にんじんのはっぱにも卵産むんだって。探してみよう」と。

みかんの木やにんじんのはっぱの裏を探している。その後、ミカンの木に卵を見つけて飼うことにする。



〈振り返り〉

・ちょうちょの卵を発見し、ちょうちょの生態について興味を持ち、自分たちで積極的に調べ始めた。

ちょうちょによって住んでいる環境や食べるものが違うことに気がついた。

・調べているうちに違うページの虫や生き物にも興味を持つ。

カブトムシやアリ、ダンゴムシの飼育など色々な生き物の育て方に興味を持っていく。

〈6月からの様子〉

虫を飼育してみよう！

子どもたちが自然と興味を持てるように手に取りやすい絵本コーナーに図鑑などをおいておく。

「飼育と観察の図鑑」を準備しておく。

卵を発見した子が主体となり、あおむしの飼育を行っていく。「何て呼ぶ？名前つけた方がいいかな？」と一晩かけて名前を考えてくる。

「あげすけとくろすけに決めた！」と、毎日ちょうの成長を楽しみにしながら保育園に来る。子どもたちも分からない事があると発見した子に「あおむしが食べているのは何？」と質問したりしている。

大きくなり蛹になると緑から茶色になる。どうして茶色になったのかと疑問を持ち調べると蛹になった木に擬態していることに気が付く。



〈振り返り〉

- ・名前を付け、毎日元気にしているかと心配し観察したり、大きくなっていく事に喜びを感じていた。
- ・自分より年下の子に対して、調べた知識を教えてあげたり、どのようにして育てているかななどを教えてあげていた。
- ・成長するにつれ、姿を変える事への生命の不思議に気が付き、命の尊さを学びながら日々の成長を楽しんでいた。

虫の世界を作ってみよう！

〈7月からの様子〉

蝶になったことを喜び、あおむしや蝶の世界を絵に描いたり、製作してみよう。

子ども「ちょうちょって何が好きかな。お花が好きだからお花畑を描くね」

子ども「あおむし作りたい」

子ども「ちょうちょ作りたい」と子どもたちが育てたあおむしの好きな部分を切り取り、自由に表現していく。

保育者「何で作ろうか？」

子ども「色々な色のちょうちょだったから虹色で作りたいな。折り紙で作れる？」とどのように作れるか一緒に考えていく。何となく形になっていくと他の子たちもどんどん集まって来て同じように製作を楽しんでいく。



〈振り返り〉

- ・蝶になったことを喜びと共に、製作中は「あげすけみたいに綺麗な模様にしたんだ」と自分たちが育てた蝶を作る姿があった。
- ・何で作れるかな？折り紙でもできるね、画用紙で切っても出来る！絵の具も。など子どもたちの制作意欲と想像力がどんどん広がっていく。思い思いの形でちょうちょを作って楽しんでいた。